



許せない！ どさくさ紛れの改憲 その動きを止めるのは国民の声

改憲への動き

来年に迫った総選挙を前に、自民党は改憲を急いでいます。なんとしても安倍総裁の任期中にと意気込んでいたのが当てが外れ、安倍氏が辞任。コロナは収まるどころか対策も行き当たりばったりで行き詰ったばかりか、GOTOで政府が感染を広げ、専門家の尾見氏からは「個人に頼る段階過ぎた」と苦言。与党や与党派系の知事からも「自助」を掲げる菅氏に切羽詰まった要求が突き付けられ、焦りを隠せぬ危機的な状況です。

そこに加えて学術会議問題がもちあがりました。6名の会員候補を拒否したばかりでなく、その理由も説明できず、本音を言えない菅政権はつじつま合わせに四苦八苦。話せば話すほど矛盾だらけ。また、森友問題では安倍総理（当時）や佐川氏らの国会答弁のウソが明らかになり、「桜を見る会」でも安倍氏の後援会が金を出していた証拠が出て来て打ち消しに大わらわ。違法な選挙で当選した総理大臣が最長期政権だったということに……。

こんな中でも改憲策動は続いています。これまで憲法

の動きを左右するのは国民の声です。国会の動き、各党の動きに目を光らせて改憲NO!の声を強めましょう。

改憲手続きは 衆議院・参議院それぞれに憲法審査会が置かれています。ここで改憲案が審議され、まとめられ それぞれに衆議院・参議院の本会議（全体会議）に諮られ、それぞれの2/3の賛成があれば国民投票にかけられます。

そこで過半数の賛成があれば憲法改正ということになります。しかしどのような改正案を提案するのかだけでなく、もし国民投票を実施するのなら、賛成、反対の運動は何ができるのか、アメリカのように金があればテレビコマーシャルや報道などを買い占めて、やりたい放題できてしまうのか、現在の選挙法そのままにビラや宣伝カーまで規制するのか、などルールも決まっています。最低投票数の規定もないので、4割台の投票で、単純な過半数なら、国民の2割に満たない賛成で決まる可能性さえあります。こうした問題点を話し合うのが先だろうと野党は主張しています。

そもそも今はコロナウィルスに世界で6000万人もの人が感染し、140万人が死亡するという大惨事の最中。日本でも収まらないどころか拡大しつつある中で、憲法改正を急げなどと言う世論はありません。こんなことにエネルギーを費やしている時ではないはずです。

憲法審査会の議論、集めた署名の扱いは？

憲法審査会ではどんな議論がされているのか。ぜひ一度確かめてください。インターネットで検索できます

◆WEBで＜衆議院＞（もちろん参議院も）と検索すると様々な国会の動きや仕組みを見ることが出来ます。

その中の憲法審査会のページを見ると、各派の主張や提出資料など、これまでの経過がわかります。

◆また、衆議院＞立法情報＞請願情報＞第201回国会請願の一覧 とたどっていってみると、ここに私たちが集めた「改憲反対」の署名の提出記録も記されています。ここには憲法審査会への請願として10件（11月20日現在）があり、そのうち3件は憲法審査会を進めよというものですが、その中の2件は請願者1名と3名い過ぎませんが、そのほかの7件は改憲反対の請願で、10数万の請願者の署名が付いています。

私たちの「九条の会・流山」は安倍総理辞任を期に未提出だった356筆を11月に届けました。

新署名に取り組みましょう

安倍総理辞職で署名用紙も新しくしました。世話人にご連絡頂ければお届けします。



憲法審査会

審査会の開催に反対してきた立憲民主党に変化があり、会議が11月19日開かれ、26日にも行われています。自民党が国民民主や日本維新の会と組んで国会運営を有利に進める事態を懸念した立憲執行部が、憲法審の開催に応じることにしたからだと報じられています。

取りあえず今年中は自由討論に終わっていますが、年明け早々に総選挙、憲法改悪へと暴走する危険は消えていません。立憲と国民民主は先の野党合流を機にたもとを分かった間柄。その後も国民民主がさらに分裂して複雑で野党の結集は容易ではありません。その結集や公明

馬毛島の米軍基地反対

地元市長矢板氏が反対表明

馬毛島（まげしま）は鹿児島県の種子島沖の8.2kmの小さな島です。政府は流山市の1/4ほどのこの無人島を評価額の3～4倍と言われる破格の160億円で買収し、ここに米軍と自衛隊の基地を建設しようとしています。

鹿児島県西之表市の矢板俊介市長は10月、馬毛島への米軍・自衛隊基地建設計画に反対する立場を表明しました。



馬毛島 wikipediaより

「艦載機の騒音、環境への影響について、ほとんど回答がありませんでした。いちど米軍を受け入れると、国内法で歯止めをかけることができない」と述べています。

この基地は米軍の空母の艦載機の訓練のためです。厚木などで行われてきたTouch and Goと言う艦載機の夜間着陸（着艦）訓練が、その轟音などのため各地で住民の強い反対にあい、硫黄島などに移して行っていますが、遠すぎると、米軍から訓練所の新たな移転先が求められ、

この無人島に目をつけたものです。日本政府は中国の日本周辺への進出を脅威とし、離島の防衛と称して軍事力の増強を図っています。しかし中国に近いこの馬毛島に米軍が配置されればいっそう緊張を高めることとなります。また無人島とはいえ、貴重な自然や海洋資源を利用してきた地域の人々にとって大きな打撃です。

ついに開くかサクラ疑惑の扉

森友問題の疑惑追及中、安倍氏や佐川氏など政府の国会答弁に139回のウソを衆議院調査局が確認した。安倍前首相が「私や妻が関与していたら国会議員をやめる」と大見得を切ったため、泡を食った財務省が佐川氏をはじめあちこちに手を廻して証拠隠滅を図り、佐川氏らが文書改ざんを部下に命じ自殺者まで出したのだ。

「桜を見る会」も告発を受けて検察が捜査している中でホテルに支払った会費の一部は後援会から出したという支払いの証拠が明らかになった。しかしそれでも安倍氏はまたもや「捜査中なので発言は差し控える」と決まり文句の逃げ口上。元総理にまで捜査が及ぶことを予測して検察庁の人事をお仲間で固めようとしたのか。

お詫び 前号で加藤教授のコメントの最後の一行の下記の太字部分が隠れてしまいました。申し訳ありません。
……日本の文化と科学の発展をもたらすと信じている。

千葉県を戦争の拠点にするな!

陸上自衛隊のV22オスプレイが暫定配備されている千葉県木更津市の木更津駐屯地で11月6日、初の試験飛行を行い、20日午後には数分間ホバリングした後、東京湾に出て約30分後、駐屯地に戻りました。

防衛省は、陸自にオスプレイ17機を導入する方針で、相浦あいのうら駐屯地（長崎県佐世保市）を拠点とする離島防衛専門部隊の水陸機動団（通称「殴り込み部隊」とも言われる米海兵隊のような任務）の輸送が主な任務となるはずで、本来の配備先は佐賀空港（佐賀市）ですが、地元と話し合いがつかず、木更津市と2025年7月までの5年間、暫定配備することで合意し、7月に2機が木更津駐屯地に到着して整備していました。

日本に配備されるオスプレイは、普天間基地の海兵隊型MV22（24機）、横田基地（東京都）の空軍型CV22（10機）。これに海軍型CMV22が加わることで、米軍が採用している3種のオスプレイがすべてそろいます。陸自V22の17機とあわせ、50機以上にのぼるオスプレイの大部隊となります。しかも、そのすべてが首都圏に展開し、木更津が一大拠点となるのです。これまでも「暫定配備」「緊急避難」などとして配備されそのまま居座るやり方が取られています。千葉県がかつてのように首都防衛の最先端に立たされる危険を考えざるを得ません。それどころか、中国、朝鮮への攻撃の拠点になる危険さえあります。



成人式での訴え

毎年成人式には新成人に憲法を守ろうと呼びかけてきました。2021年の流山市の成人式は1月10日(日)に行われますが、今回はコロナ対策として、キッコーマンアリーナで10時と12時の二度に分けて行われます。

そのため私たちの新成人へのアピールも例年通りにはできません。 昨年は10時開場10時半開会で私たちは9時半に集まりました。

今年は30分早いので9時に駐車場に集まりたいと思います。ご都合のつく方はよろしくご協力ください。

おおたかの森駅宣伝と署名

12月9日(水) 15:30~16:30

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ  
00130-5-464735 口座名 九条の会・流山